

(様式2) 平成25年度〔自己評価報告書〕

学校番号	5	学校名	川崎市立臨港中学校	校長名	吉水 之夫
------	---	-----	-----------	-----	-------

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他を愛し、素直で誠意ある人の育成</li> <li>・責任感強く、たくましく勇気ある人の育成</li> <li>・礼儀正しく、質実清楚な人の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を定着させるとともに、明るく生き生きとした学校づくり</li> <li>・教科指導を充実し、「生きる力」を育む学校づくり</li> <li>・道徳指導を充実し、お互いの個性を認め合う学校づくり</li> <li>・家庭や地域から信頼される学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につける中で自分の良さをみつけ、生活を向上させる力を育む</li> <li>・互いの個性や特性を理解しあい、より良い人間関係を築いていく力を育む</li> <li>・学習指導を充実させる中で、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む</li> </ul>

評価項目	具体的な取組	実現状況(○)及び課題(▽)	具体的な改善策
1	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9割近くの生徒・保護者が「学校生活は楽しい(楽しんでいる)」8割近くの生徒・保護者が「臨港中に入学して良かった(入学させて良かった)」と回答していた。</li> <li>○今年度も保護者懇談会の機会を多くするために授業参観の回数を増やした。6割の保護者が多く行った方が良いという肯定的な意見であった。</li> <li>▽4割の教職員が「自分の取組が学校のためになっているかどうか気になる」6割近くの教職員が「仕事を進める上で、もっと多くの人に意見を聞いてもらいたいと思っている」と回答していた。多忙を感じ、様々な教育課題に取り組む中で、悩みの多いことが表れているようである。</li> <li>▽5割の保護者が学校の施設・設備面で不満をもっている。また教材・教具がかなり老朽化していて中には破損したものもあり早急に修理・購入する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般については肯定的な回答が多かった。この気持ちを大切に、自己肯定感を高め自尊感情や自信をもって生きていく姿勢を育んでいきたい。</li> <li>・今後も授業公開の回数を増やすなど開かれた学校づくりを目指していきたい。</li> <li>・情報提供については、学校だよりや学年・学級だけでなく、学校ホームページを活用するなど、周知していきたい。</li> <li>・教職員のコミュニケーションを円滑にする中で、教職員同士の信頼関係を大切にしながらお互いに連携を図り、組織として機能できるようにしていきたい。</li> <li>・学習環境の充実については、老朽化の著しい本校にとっては大きな課題であるが、早期対応に努めたい。また、各学年、学級担任を中心に教室環境の整備を進めていきたい。</li> <li>・校務支援システムの運用を円滑に実施していきたい。</li> </ul>
2	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「教科の特性を生かした言語活動及び表現活動の充実」をねらいとして、校内授業研究会を総合教育センターの指導主事を講師に招き実施した。</li> <li>○保護者には教育課程説明会で各教科の評価内容や評価資料・対象を説明しているため、アンケートでも評価について理解している割合が8割近くに達していた。</li> <li>▽8割の生徒が「授業は分かる」「授業中しっかり話を聞き、考えよう」と回答している。反面、6割の生徒が「学力の向上には自信がなく不安」と思っている。分かるからできるようにするために、授業の工夫改善を行い、家庭での学習習慣も身につけさせたい。</li> <li>▽6割の生徒が「公平に評価していない」と感じている。授業の中で評価方法を説明し、周知させることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の年間テーマ「教科の特性を生かした言語活動及び表現活動の充実」に基づき、「話し合い活動の充実」や「書くこと」に重点を置いた取組を次年度も継続して行っていきたい。年度当初に教科や教科間の共通理解を図る場を設け、職員研修の充実を図りたい。</li> <li>・信頼性・公平性のある評価方法の研究及び推進に努めたい。</li> <li>・保護者にも協力を求め、家庭学習の習慣を身につけさせ、主体的に学習に取り組む態度を育成していきたい。</li> <li>・特別支援教育の視点を大切に、きめ細かい指導を実践し、基礎学力の充実を図ってきたい。</li> <li>・総合的な学習の時間について、年間計画や指導内容も含めて検討していきたい。</li> </ul>
3	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内授業研究会で道徳の授業を実施し、道徳指導法の研究を行った。</li> <li>○学年によっては研修(勉強会)を実施し、学年全体で取り組むことができた。</li> <li>○共生＊共育プログラムの効果測定を実施し、生徒理解の一助にしたい。</li> <li>▽今年度は「道徳の時間の授業の進め方」の研修ができなかった。来年度は必ず実施したい。</li> <li>▽教材等を工夫しながら生命や人権を尊重する意識を育てる指導に努めた。しかし、4割弱の生徒が、豊かな心が育っていないと感じているようである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間や全教育活動を通して人権尊重の意識を高める工夫をしていきたい。</li> <li>・年度当初に「道徳の時間」の進め方を「きらめき」を用いて研修したい。</li> <li>・授業参観でも「道徳の時間」の公開授業を一齐に行いたい。</li> <li>・全学年による研修(勉強会)は時間の確保もあり難しい面もある。少なくとも月1回の学年会で「道徳の時間」の進め方を確認し、内容を吟味していきたい。</li> <li>・共生＊共育プログラムの効果測定は学級や生徒の特徴をつかみ、指導に活かすためにも年3回は実施したい。そして実施後の活用について徹底していきたい。</li> <li>・文科省「私たちの道徳」の有効な活用法について研修を行いたい。</li> </ul>
4	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○8割から9割の生徒・保護者が「体育祭や文化発表会など学校行事は楽しく充実している」と回答している。体育祭や合唱コンクール・文化発表会などの行事を通して協力し合える生徒集団の育成を図り、生徒・保護者ともに充実した活動であったと高い評価であった。</li> <li>○壮行会では全校生徒全員で応援していこうとする雰囲気が出てきた。</li> <li>○生徒会本部が中心となって朝清掃(ボランティア活動)を実施した。</li> <li>▽5割の生徒が「環境美化に積極的に取り組んでいない」と回答している。全校生徒の取り組みとなるようにし、奉仕的活動を積極的に推進し学校行事的な活動となるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は校内授業研究会で特別活動の授業を実施して指導法の研究を行いたい。</li> <li>・話し合い活動への取り組みについて研修し、全校で同じ目標・形式をもって取り組んでいきたい。</li> <li>・生徒一人一人の個性を尊重し自立を促すよう、学校行事、生徒会活動をさらに活性化させたい。</li> <li>・日常の生徒会活動や委員会活動を活性化するとともに、情報発信を充実させ、家庭や地域に伝えていきたい。</li> <li>・各集団でのリーダー養成のため、リーダー研修を計画し実施していきたい。</li> <li>・生徒総会や生徒議会・生徒朝会等を活用し清掃活動への取り組みを生徒会本部が中心となり推進していきたい。</li> <li>・自己肯定感を育むため、部活動を活性化。また、保護者の理解と協力を得るための情報提供を積極的にいきたい。</li> </ul>

5	生徒指導	<p>基本的な生活習慣の確立と生徒理解の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や服装などの基本的な生活習慣の確立に向けた指導の徹底</li> <li>・相談活動の充実と生徒理解の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶運動や校内巡回を通して、常に生徒の様子を把握することに努めた。</li> <li>○年3回、教育相談週間を設け、いじめ等の早期発見に努め相談活動を実施した。</li> <li>○警察関係の協力があり「防犯教室(スマートフォンの使い方)」を生徒だけでなく保護者にも参加を呼びかけ実施した。</li> </ul> <p>▽挨拶や身だしなみ・時間については、継続して指導しているが、一部生徒への指導には難しさがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に、全教職員で生徒指導の方針を必ず確認したい。</li> <li>・相談活動をさらに充実させるために、日頃から相談事や悩みなど、気軽に生徒が教員に相談できる環境をつくっていききたい。</li> <li>・次年度も主任会、職員会議、朝の打ち合わせなどで全教職員で情報を共有化し、報告・連絡、相談を徹底していききたい。</li> <li>・保護者、地域との協力を進めるとともに関係諸機関との連携をさらに強化していききたい。</li> <li>・川崎市いじめ防止ガイドラインをもとに、学校いじめ防止基本方針を策定する。</li> <li>・いじめへの的確な対応をしていききたい。そして、いじめや差別を「しない、させない、見逃さない」環境をつくっていききたい。</li> <li>・運動部活動指導における健全な指導の在り方を見つめ直し、体罰のない指導体制を構築していききたい。</li> </ul>
6	特別支援教育	<p>特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに応えたきめ細かな教育の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級(知的・難聴)や相談指導学級(情緒)の生徒へは、学級担任を中心にきめ細かく対応できた。</li> <li>○臨床発達心理士を講師に招き、発達障害についての職員研修を行い、理解を深めた。</li> </ul> <p>▽通常の学級で対象となる生徒への対応について組織的に行うことができなかった。また、保護者と円滑に相談活動をすすめることができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級で学習面や生活面で特別配慮が必要となる生徒への対応について、「校内組織、支援体制、相談体制」を整備し、組織的に取り組むと同時に、関係諸機関との連携に努めていききたい。</li> <li>・保護者への説明と相談活動が円滑におこなえるように努めていききたい。</li> </ul>
7	健康安全管理	<p>生徒の健康、安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応マニュアルを作成し、危機管理意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医や警察署と連携し、「薬物乱用防止教室」や「熱中症予防講演会」を実施した。また、保健福祉センターに依頼し、「自分の体を大切にしよう」をテーマに性に関する健康教育も実施した。</li> <li>○年3回、避難訓練・防災訓練を実施した。火災や地震での避難について円滑に実施することができた。</li> </ul> <p>▽安全点検の定期的な実施が十分でなかった。 ▽校舎施設の老朽化に伴い、修理を必要とする箇所が多くある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医との連携をさらに深め、連絡を密にしていきたい。</li> <li>・全教職員がAEDの使用法と心肺蘇生法を再度確認し、緊急な場面で処置できるようにしたい。</li> <li>・次年度は健康教育に関する研究授業を実施する。</li> <li>・各施設の管理責任者を明確にし、定期的な点検を確実にやりたい。</li> <li>・地震や津波に対する避難方法について日頃から指導し、防災意識の向上に努めていきたい。</li> </ul>
8	保護者・地域との連携	<p>生徒の健全育成に向けた連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般にわたる支援とPTA会員相互の理解の伸張</li> <li>・地域教育会議との連携</li> <li>・小中連携教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教職員がPTA行事や地域行事に積極的に参加し、相互理解に努めた。</li> <li>○学級懇談会や個人面談の機会を通じて、生徒の現状を積極的に保護者に伝えた。</li> <li>○小中連携では、体育祭などの行事、授業参観や教職員合同研修会などを実施し相互理解を深めることができた。</li> <li>○地域教育会議による地域体験活動「職業体験」は生徒にとって大変貴重で有意義な活動であった。体験をさせていただいたことに対して生徒・保護者から多くの感謝とお礼の言葉があった。</li> <li>○今年度も地域教育会議主催の東北被災地ボランティア活動に参加させていただいた。そして被災を経験した前校長先生の貴重な話を聴かせていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた学校づくりを促進するために、PTA・地域との協力関係をさらに深めていききたい。</li> <li>・PTA活動の報告など、さらに広報活動の充実を図りたい。</li> <li>・小中連携教育をより一層推進するために、児童生徒指導を含めてさらに交流を深めたい。</li> <li>・地域体験活動を中心に、地域教育会議との連携をさらに促進したい。また、職場体験を通して、キャリア教育を推進していききたい。</li> <li>・学校評価(アンケート集計)や学校推進会議を活用して学校運営を活性化していききたい。</li> <li>・児童福祉施設「スマイル」(平成26年9月1日開所)にもない、施設職員との連携を図り、円滑に生徒を受け入れるための体制をつくりたい。また施設職員に本校の様子を理解してもらうための研修を実施していききたい。</li> </ul>

学校関係者の評価	今年度のまとめ・次年度へ向けての取組
<p>学校教育推進会議 平成26年3月17日(月)15:00より</p> <p>①いじめについて いじめ防止の取組は継続することが大切だ。いじめ防止の啓蒙活動や標語・ポスター等の積極的な掲示をお願いしたい。また、思いやりの心を育てて欲しい。そのためには他人の心を読む想像力が大切だ。</p> <p>②生徒会活動への協力について 現在、生徒会と地域が別々に取り組んでいる活動を一緒にし、「美化清掃活動」として実施できないだろうか。地域の方々も世代交流の場になり大変喜ぶだろう。是非、検討していただきたい。</p>	<p>今年度のまとめ・次年度へ向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も学校教育のあるべき姿をしっかりと見定めて、家庭と地域との十分な連携・協力のもとに、学校運営を推進していききたい。</li> <li>・次年度も笑顔を決めず、いじめや体罰のない学校を目指し、「凡事徹底」の精神が生徒に浸透するようにしていきたい。</li> <li>・教育活動は生徒と教職員のふれあいに基つき、相互の信頼関係の上に進められていることを意識し、次年度もコミュニケーションを大切にしていきたい。</li> <li>・今まで通り学習指導と生徒指導を大切にしてい。基本的な生活習慣や家庭学習については、学校と家庭が一体となって取り組まなければならない問題なので、保護者の方々に挨拶や掃除、服装、家庭学習等について具体的な取組を提案していききたい。</li> <li>・保護者からのアンケートでは学習面への期待の声が強く感じられる。「分かる授業」をキーワードとし、基礎学力が不足している生徒への指導のあり方、学習の躓きの原因分析など分かりやすい授業づくりに取り組んでいきたい。</li> <li>・特別支援教育の校内体制の基礎をつくっていききたい。そのためには、継続して非常勤講師の配置など、人的な課題も市教委に是非お願いしたい。</li> <li>・平成26年4月に本校の学区内に開校予定の田島支援学校や9月に開所予定の児童養護施設「すまいる」との円滑な連携に向けて準備していききたい。</li> </ul>